

令和6年度第1回愛媛県公立大学法人評価委員会の会議結果

- 1 会議の名称 令和6年度第1回愛媛県公立大学法人評価委員会
- 2 開催日時 令和6年7月29日（月曜日）18時00分から19時00分まで
- 3 開催場所 愛媛県庁第一別館11階大会議室
- 4 出席者 委員4名、事務局5名、法人7名
- 5 審議事項（議事）
 - 令和5年度業務実績報告
 - 財務諸表及び利益処分（案）
（公立大学法人愛媛県立医療技術大学に対するヒアリング等）
- 6 審議の内容（全部公開）

公立大学法人愛媛県立医療技術大学の令和5年度業務実績報告書、財務諸表及び利益処分（案）に関して、委員から法人役員に対しヒアリングを実施した。

【主な質疑等】

令和5年度業務実績報告

（県内就職）

- 県外就職者はどの地域に就職することが多いのか。
⇒ 県外出身者は自身の出身地に帰り、県内出身者は神戸、大阪、広島、岡山、東京で就職する者が多い。

- 令和3年度入学生（令和6年度卒業生）については県内出身割合が例年並みに戻っているとのことだが、県内出身学生についても県外就職志向が高まっている印象がある。少子化の進行で、専門学校では定員割れが生じている状況もあるが、県内学生の確保や卒業生の県内定着に向けどういったことをしているのか。
⇒ 入試において県内出身学生の枠を増やすことを検討している。また、高校の進路指導担当教員への説明会では、愛媛の看護師不足の現状をしっかりと説明し、医療分野への進学及び県内就職を学生に働きかけてもらうよう依頼するつもりである。県とも先日から協議を重ねているところで、大学としても一番の使命と考えているが、大学だけで解決できる問題ではないため、受け皿である医療機関とも連携を深めていきたい。

- 高校への働きかけの話があったが、看護協会では、看護師等の職種に魅力を感じてもらうため、中学生や小学生、あるいはより小さな子どもを対象にした体験の場や説明会を増やしている。ただ、どうしても学習を越えて現場の話が中心になるので、看護学生に関してもイメージを持ってもらえるようなものにできればよいかもしれないと思った。

⇒ 若者は SNS で情報収集、情報共有を行っているため、こちらに若者を引っ張ってくるのではなく、こちらがそういった若者の世界に入っていくのも大事だと考えている。大学では広報動画を作成しており、こういったことを学べるのか知るのに最適だと思うので、看護協会でも PR をお願いしたい。

○県内出身学生の枠を増やすという話が出たが、この枠は助成金等何かインセンティブがあるのか。

⇒ 経済的な支援については、大学と県で協議中である。経済的な支援以外も含め、学生が何を求めているのか、どうすれば県内に定着してもらえるのか、ゼロベースで協議を重ねており、可能な限り早急に対策を打ちたいと考えている。

○こういった施策に公費を投じることは投資であり、惜しむべきではないと考える。

⇒ 有効な施策を打ち出せるようにしたい。

○外国との交流も含め、学生間で「都会に行くよりも、まだ地元でやるべきことがある」という使命感を醸成するために、取り組んでいることはあるか。

⇒ 大学で取り組んでおり、かつ今後拡充したいと考えているのは、現場見学、特に南予の医療機関の見学である。資料を見せて口頭で説明するだけではなく、現場に赴いて地元の人と交流することは非常に大事だと思うので、拡充に向けて県と協議しているところである。

(大学認証評価)

○大学基準協会から改善課題や是正勧告なしで通ったのは評価すべきことと思うが、何か得策があったのか。

⇒ 特別なことをしたわけではないが、本学は非常に小規模で教員、学生、職員の距離が非常に近いため、受審に向けて綿密な調整が可能であった。また、長年続けてきた教育やシステムが評価されたものと考えている。

財務諸表及び利益処分 (案)

○会計基準改訂前は、資産見返負債はどういうときに取り崩していたのか。

⇒ 固定資産の減価償却に応じた額を每期取り崩していた。

[事務局]

保健福祉部社会福祉医療局

保健福祉課調整管理係

TEL 089-912-2381

FAX 089-921-8004